

ニュースレター（3月）

テーマ

1. 工夫ある経営で頑張っている中小企業 (5件) 2頁

- 腎クリニックをサポートする、らくらく透析管理システム (アシストボックス・北区)
- 販促ツールを郵送して顧客との繋がりを重視する (㈱スタッフワーク・中央区)
- 世界に一つだけの「クロムハーツ」(クロムカスタム工房㈱・阿倍野区)
- 「和モダンな空間、癒しの空間を手軽に現代の生活に」との思いで作った、「彩り障子」の開発、製造で経営革新の認定を受け、積極的な展開をする建具屋さん (㈱種村建具木工所・平野区)
- 塾長の熱い思いが子供たちや保護者を惹きつけるガッツな塾 (辰巳塾・住吉区)

2. 地域の動き (3件) 7頁

- 千林商店街でキッズマーケット開催 (旭区)
- 大型商業施設の出店相次ぐ西部地域 (西区・港区) (西区・港区)
- 知恵を絞って小売体験～玉出本通商店街☆キッズマーケット～ (西成区)



大阪のあるべき姿と重点テーマを示す「ビジョン」と、その実現に向けた「アクションプラン」をとりまとめたのが「大阪財力創出プラン」です。「ビジネス・ホームドクター」である経営指導員が、地域商工業に活力あふれる「大阪」をつくりだすための支援をします。

新淀川支部 (淀川区担当) 北・都島・福島支部
旭・城東・鶴見支部 中央支部 此花・西・港支部
東成・生野支部 天王寺・阿倍野支部
大正・浪速・西成支部 東住吉・平野支部 住之江・住吉支部

工夫ある経営で頑張っている中小企業

腎クリニックをサポートする、らくらく透析管理システム

アシストボックス（代表：小比賀（おびか）雅裕氏 所在地：北区天満 4-2-15 吉岡ビル 3 階 TEL：06-6357-3656 URL：<http://www.asahi-net.or.jp/~mk5m-obk/index.htm>）は、腎クリニック・透析医療施設向けに「らくらく透析管理システム」の販売している。既に、2010年6月から大阪府内の透析医療施設で稼働を始めており、今までに無い簡単な操作が大変好評を博している。



この透析システムは起動するとすぐに本日の透析者が分かり、必要な情報の表示と変更履歴が情報毎に関連付けられて同時に見られるようになっている。また、介護情報も分かる様になっており、とても便利に使っていただける「より使えるシステム」となっている。操作が簡単で項目変更記録、連絡メモ、介護情報、血液検査データ受信機能など画面を切り替えずに1クリックで表示ができる優れたもの。ご要望いただければ透析医療施設の業務に合わせた管理項目や情報印刷の追加など、カスタマイズ対応もOKである。

小比賀氏は独立して個人事業でソフト開発を始めて現在10年目。勤務時代を含めると26年間にわたって、汎用機からオフコン、パソコンと多種多様な規模・業種のシステム開発に携わっており、顧客への多様なサポートが可能だ。

個人事業、法人企業、製造業、医療関係他と規模・業種を選ばない業務ソフト開発・サポートをはじめ、個人向けのパソコンサポートにも応じてくれる、まさにITレスキュー隊員と言ったところ。新規開発はもちろん、顧客の色々な要望への対応と、予算に応じてできることを提案してくれる力強いお助けマン的存在である。

今、お困りのことはございませんか？パソコンのことならどんな事でも相談ください。

（北・都島・福島支部）

販促ツールを郵送して顧客との繋がりを重視する

株式会社スタッフワーク（所在地：中央区錦屋町 1-3-6 TEL：06-6942-7128 代表取締役：坂元雄二氏 URL：<http://www.staffwork.co.jp>）は、広告物の企画、デザインを行っている。代表者は永らく食品会社に勤務していた経験から、食品関連の広告が90%近くになっており、デザイン関連の公共機関からも食品関連になると同社に依頼があるほどである。

同社では2ヵ月に1回「販促通信」と題するA4版1枚のニュースレターを郵送している。

現在では、多くの企業でメール配信やツイッター等が利用されているが、同社では、郵送物にこだわり、顧客との繋がりを大切にしている。内容は、広告に関するトレンド、社長の考え等々毎回種々の情報伝達を行っている。

販促物を郵送するには、コストがかかる。販促物制作の person 費から印刷代、郵送するための封筒や郵送料等々である。しかし、コストのかかることをあえて行うことによって、顧客との繋がりを大切にしたい社長の思いが伝わってくるようである。

さらにこの販促物を郵送する際には、1件1件相手先に対して、メッセージを小さな短冊に

手書きして入れている。社長は毎回200軒ほどの得意先様や関係先に郵送しているが、メッセージも1枚1枚、顧客の顔を浮かべながら書いているということである。社員にもそれぞれ自分の顧客に対してメッセージを書いて郵送するよう指示をしている。

メールやホームページでの販促とは違った郵送での販促ツールの利用は、他社との違いをアピールすることができるものと考えられる。

(中央支部)



世界に一つだけの「クロムハーツ」

アメリカ発祥で若い世代を中心に人気のあるシルバーアクセサリーの高級ブランド「クロムハーツ」。現在の「クロムハーツ」の主力商品であるシルバーアクセサリーは、元々バイク用皮革製品のボタンやファスナー等であったが、デザインの斬新さが、口コミで全米のバイク愛好家の間で評判になり、単独商品として販売される様になった。

現在はボタン・ファスナーだけでなく、ペンダントや指輪・ブレスレット・ネックレス・子供用製品など、多種多様な商品が販売され、手作り加工で商品数が少ない上に市場人気が高い事もあり、入手しにくいファッションブランドの一つである。発祥の地であるアメリカでは、ハリウッ드의映画スターが愛用している事から人気になり、日本でも有名芸能人・タレントが愛用している事から、人気に拍車がかかっている。

特に「クロムハーツ」にダイヤモンドなどの宝石を装飾し、世界にひとつしかないオリジナル仕様に加工



するサービスが人気を集めている。専門のクロムカスタム工房株式会社(所在地:阿倍野区三町1-8-2 代表取締役:石津雅之氏 TEL:06-6629-2260 URL:http://www.kuromu.com)では口コミで評判が広まり、年間受注件数が急増している。

同工房を経営する石津雅之社長は一級貴金属装身具制作技能士の資格を有し、4年前から「クロムハーツ」の装飾加工サービスを本格的に始めた。自身で仕入れたり、顧客が持ち込んだ「クロムハーツ」のネックレスや指輪に、お客様の注文のイメージに沿ってダイヤモンドやブルーサファイヤ、ルビー等の細かな作業でちりばめていく。注文を受けてから平均1カ月程度かけて念入りに加工し、お客様に渡している。

石津社長は「できあがったものが気に入ってもらえなければ、追加料金なしで再加工します。」と話しており、顧客満足度の向上にも余念がない。

(天王寺・阿倍野支部)

「和モダンな空間、癒しの空間を手軽に現代の生活に」との思いで作った、「彩り障子」の開発、製造で経営革新の認定を受け、積極的な展開をする建具屋さん

大阪市内でも平野郷として中世からの環濠集落の残る平野区で有限会社種村建具木工所(所在地:平野区喜連4-7-10 代表取締役:種村義幸氏 URL:www.tanemoku.com)は業暦50年を有する木製建具・造作家具の製造取付業者である。

近年、住宅では和室が減り、木製建具需要も減少するなか、「和の空間を何らかの形で、現代の生活に取り入れることができないか。家の中で癒せる、安らぎの空間ができないか」との、強い思いから、同社は手軽に和の空間を創造できる、「彩り障子」を開発。ネット販売も開始した。(その経緯はニューズレター22年7月号掲載)

しかし、そう簡単に反響は得られなかった。ネットで工夫をしても、注目は少なかった。そのような時に、たまたま、大阪商工会議所のセミナーや相談によって経営革新支援事業を知り、大阪中小企業応援センターの指導も受けて、経営革新の申請をし、22年9月に大阪府の承認を得ることができた。

「経営革新の承認取得により、対外的な信用力も厚くなりましたが、最大のメリットは事業



産業交流フェアでの当社ブース

計画の固めです。つまり、『彩り障子』と云う、新商品での事業方針や展開方法が社内でも明確になりました。」とは代表取締役の種村氏の言葉。

その成果の一つが、9月の売れ筋商品発掘市への参加。当日のバイヤーへの売込み状況が、NHK「ニューステラス関西」で放映された。「発掘市ではテレビ放映も頂きましたが、従前は工務店様との取引の経験しかない当社にとって、大手バイヤー様とのつながりや、考え方も分るようになりました。」(種

村氏)

また、10月には本支部が地域の他団体とともに実施した「第6回産業交流フェア」へ出展した。これは同社としては初めての展示会参加である。「産業交流フェアには出展して本当に良かった。展示会出展は初めての経験ですが、昼食もできないくらいのお客様があり、『彩り障子』



特大サイズの彩り障子



コラボ商品・ブリザードフラワー

へのお客様の生の声が聴けました。」(種村氏)

さらに同社のホームページもコンセプトを見直し、構成も改良を加えた。その結果、より商品訴求力の強いホームページになったようだ。併設しているブログでの顧客との繋がりも大きい。それは『彩り障子』の多様性に現れている。つまり、お客様の要望をお聴きして、「特大、両面、二面～五面」等の諸サイズや、『彩り障子シリーズ』としての、木目込み人形やアロマとのコラボ商品などの開発だ。既存の建具家具製造事業との相乗効果も大きい。

「新しいことを取り入れることで、古い技術も活かせるようです。」(種村氏) 既存事業での、組子細工などの伝統技術を守り育てると共に、更に磨きをかけようとしている。

また、種村氏は「新事業だけでなく、本業につなげることでさらに発展させていきたい」と～町工場が待ち工場になってはいけない～をモットーを持っている。前向きな同社にとって今後の進むべき方向は明確なようだ。

(東住吉・平野支部)

塾長の熱い想いが子供たちや保護者を惹きつけるガッツな塾



地下鉄長居駅徒歩数分という好立地のビルの一室に「辰巳塾」(代表者:小林浩樹氏 所在地:住吉区長居東4-2-3 光信第3ビル5階 Tel:6691-8119)という塾を構える熱血塾長がいる。



代表の小林氏はとにかく礼儀正しく爽やかな好青年で、子供たちを教える人とは確あるべしという見本のような人物である。この塾長の人間形成に大きく関わった亡きご両親が大変立派な方であったかと推測される。学生時代から実母の介護で就職も断念し、大学2年で同塾を開業した。

当初は塾長個人の落ちこぼれ体験から、成績下位者を対象として開いた塾であった。ひと味違う教材づくりを一人一人の生徒に合わせて作成した個別プログラムにより、

子供の能力・個性を引き出していく。分からない個所は基礎から教えるという徹底した指導法により、有名私学、国立高校、歯学部・医学部入学者等を輩出。しかも学年トップ入学の生徒がここ数年連続して出ている。この成果は塾長のユニークな人生体験から生まれた、クオリティの高いサービスの提供にあると言えよう。何事にも一生懸命で「一に挑戦 二に研究 とにかく研究と発見の連続です」と熱く語る。

また、飽くなき探求心はこれから必要となるものを先取りし、すべての根幹は国語であるという観点から、塾長自ら考案した難しい文章・かたい文章をわかりやすく説明できる方法も編み出し、速読も七田式と栗田式をベースに改良を加えたものを塾生に指導し、成績アップに貢献している。

今後は語学教育に力を入れていきたいと、中国語等4ヶ国語勉強中である。塾内には自習室もあり、塾生がくつろげる温かな雰囲気のある教室である。今後益々少子化が進み、選別が激しい業界であるが、小林塾長の子供たちへ向ける熱い想いに今後の発展を願って止まない。

(住之江・住吉支部)



地域の動き

千林商店街でキッズマーケット開催

2月4日（金）午後1時30分より3時まで、くらしエール館前広場で古市小学校5年生による、キッズマーケットが開催された。

「キッズマーケット」は小学生による出店体験活動で、正規の授業として実施されている。地元商店街での出店という目標に向かってグループで役割分担し、商品の仕入れや値付け、広告・宣伝などの店づくりなどから販売活動、その後の収支計算・利益処分までを経験する活動で、今年で12年目を迎える。

古市小学校では平成12年より参加し今回で第11回目のキッズマーケット開催となった。地元商店街協力のもと、くだもの屋さん、鞆・袋物屋さん、お菓子屋さん、文房具屋さん、スポーツ用品屋さん、雑貨屋さんの7店舗を出店し、沢山のお客さんに色々な品物を販売し、お金を頂く、初めての商売を体験した。

古市小学校の近くに大阪でも有数の千林商店街があり、また商店街は通学路となっているせいか、お客様と賭け合う姿は大人顔負けの商売人であった。特に値付けに関しては、良く研究していたようで、他のキッズマーケットでは見られない高い値段設定で、特に菓子類は近くのスーパーの販売価格に近い設定であった。商品の陳列にも色々工夫を凝らしたり、チラシ配り、の



ぼりを持って商店街をPRして回ったりして集客に頑張っている点は地元の商人も見習うべきものがある。

小学生からは「ぼくは仕入と値段を付けました。できるだけ安い値段をつけたので全部売れました。」「自分たちで決めた値段で売るというすばらしい体験をしました。」などの感想が寄せられた。

（旭・城東・鶴見支部）

大型商業施設の出店相次ぐ西部地域（西区・港区）

今春、大阪に百貨店や大型商業施設がオープンすることはご存知であろう。3月3日には増床が完了した「大阪タカシマヤ」が、4月26日には阿倍野にモール型ショッピングセンター「あべのマーケットパーク キューズモール(あべのキューズタウン)」が、5月4日には「JR大阪三越伊勢丹」がグランドオープンする。

一方、大阪の西部地域に目を移すと、西区では京セラドーム大阪の西側に隣接する大阪市交通局跡に「FOREO（フォレオ）大阪ドーム前SC」（所在地：西区九条南1-12-13）が6月末にオープンする。大和ハウス工業が開発し、敷地面積は約5,965㎡、3階建てで延床面積は約14,125㎡。1階にはびっくりドンキーやサイゼリア等の飲食関係が中心に入り、他にユニクロ、調剤薬局、コンビニなどが入店する。2階は衣料フロアで、西松屋とシママラが、3階はスポーツ施設でスポーツクラブNAS（ナス）とボウリング場が入店する。営業時間は午前10時～午後8時で、一部の飲食や娯楽施設では営業時間が異なるとのことである。

また、同じく京セラドーム大阪の東口あったPa・Dou跡には「イオン大阪ドームショッピングセンター(仮称)」（所在地：西区千代崎3-13-1外）が平成24年3月のオープンを目指し工事が始まっている。敷地面積は約28,000㎡、地下1階地上8階建て、営業時間は午前9時～午後11時、駐車台数は730台、駐輪台数は1,650台を予定している。

さらに港区では、弁天町駅前に6月29日のオープンを目指している「ライフ弁天町店(仮称)」（所在地：港区磯路1-9-1）の工事が始まった。店舗面積は約3,835㎡で、駐車台数68台、駐輪台数160台(原付10代含む)、営業時間は午前7時～翌午前2時を予定している。

地域に密着した商店街では、これまで情報提供、安心・安全対策の整備、さらにアメニティー要素や地域資源を取り入れたイベントの開催など、地域の方々との交流も図り、地域とともに形成されてきた。

西区港区両区の人口は約16万9千人で、世帯数は約91,000と平成17年の国勢調査時に比べ増加しているが、来春までに三つの商業施設が、半径1km弱の圏内に相次いで出店することになる。オーバーストア状態で、近隣スーパーとの価格競争、集客獲得競争はますますし烈になることは歴然であり、周辺商店街への影響も大きい。地元の商店街は戦々恐々とし、対策に頭を痛めている。

(此花・西・港支部)

知恵を絞って小売体験～玉出本通商店街☆キッズマート～



タイムセールスになり一層盛り上がる店頭

インスタント食品、菓子類まで様々な種類の買物が楽しめる。

節分の賑わいがまだ余韻を残す2月4日、南海岸里玉出駅近くの玉出本通商店街で、玉出小学校の5年生がキッズマートを実施した。

生徒たちはこの日に向けて、商店街の方からアドバイスをもらい、授業で商売について学びながら出店の準備を行ってきた。

商店街の片側に、にわか仕立ての10店舗ほどが並び、生鮮野菜から服飾雑貨、文房具、日用雑貨、



根菜に扮する店員たち



ユーストリームで動画配信中

<http://www.ustream.tv/recorded/12442398>

どの店も元気な掛け声や手作りチラシを配り歩いて客集めに力を入れていた。取扱商品や店のコンセプト、集客方法にはかなり議論を重ねたに違いない。例えば、無農薬で葉付、朝採りの天王寺蕪や田辺大根等なにわの伝統野菜を並べる店では、店員たちが頭の上に新鮮な葉っぱに見立てた緑色のポンポンをのせて、商品のいきのよさをアピールしていた。また、筆記用具に特化したペンの店では、マーカーやボールペンなどの色や種類を熱心に選ぶ人々がひしめき合う。選ぶ楽しみをくすぐるなど、随所に売るための工夫が見受けられる。

さて、開店前からビデオカメラとノートパソコンを使って、キッズマートの様子を撮影しているペアが気になり声をかけてみた。玉出本通商店街組合の依頼によりキッズマートを記録しながらユーストリームでライブ配信しているという。ご興味のある方はチェックを。

(大正・浪速・西成支部)

大阪商工会議所 支部

新淀川支部 (淀川三区担当)	〒532-0025 淀川区新北野1-14-11 大阪新北野第一ビル2階	TEL. 6302-5977 FAX. 6302-5978
北・都島・福島支部	〒530-0047 北区西天満5-1-1 ザ・セヤマビル3階	TEL. 6130-5112 FAX. 6130-5113
旭・城東・鶴見支部	〒536-0005 城東区中央2-12-14 柏木ビル2階	TEL. 6930-2244 FAX. 6930-9898
中央支部	〒541-0051 中央区備後町3-4-9 輸出繊維会館 6階	TEL. 6222-2221 FAX. 6222-2480
此花・西・港支部	〒552-0007 港区弁天1-2-30 オーク4番街3階	TEL. 6599-1537 FAX. 6599-1538
東成・生野支部	〒537-0012 東成区大今里3-14-27 ITTビル2階	TEL. 6975-5662 FAX. 6975-5663
天王寺・阿倍野支部	〒543-0056 天王寺区堀越町13-18 銀泉天王寺ビル5階	TEL. 6771-2211 FAX. 6771-2257
大正・浪速・西成支部	〒556-0017 浪速区湊町1-4-38 近鉄新難波ビル 11階	TEL. 6649-5252 FAX. 6649-5253
東住吉・平野支部	〒547-0034 平野区背戸口5-6-17 小谷ビル東館4階	TEL. 6797-1155 FAX. 6797-1199
住之江・住吉支部	〒558-0051 住吉区東粉浜3-27-12 住吉住之江産業会館2階	TEL. 6674-1125 FAX. 6674-1138